

9月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 第1回ふれあい 文化祭実行委員会 19:30～	4	5 休館日
6 休館日	7	8	9	10 人権を考える日 ほがらか人生大学 「砥部焼絵付け」 10:00～	11	12 休館日
13 休館日	14	15	16 資源ごみ 瓶・ペットボト ル・スプレー缶 放課後子ども教室 「一緒に遊ぼう」 15:30～	17 なごやか料理教室② 9:30～	18	19 休館日
20 休館日	21 休館日 敬老の日	22 休館日 国民の休日	23 休館日 資源ごみ 古紙 秋分の日	24	25	26 休館日
27 休館日	28	29	30 国ちゃんカフェ 10:00～			

熱中症予防のために、
こまめに水分補給をし、
休憩をしましょう

【国ちゃんカフェ】の開催日についてお知らせ

9月の【国ちゃんカフェ】は、9月23日が秋分の日のため
9月30日（水）に開催しますので、お間違えない
ように、ご注意ください

令和8年度

国安地区人権・同和教育学習会のご案内

人権が尊重される明るい住みよいまちづくりを
実現するため、学習会を開催します。
皆様のご参加を、お願いします。

- ◆開催日：10月6日（火）
- ◆時 間：午後7時00分～午後8時15分
- ◆会 場：国安小学校体育館
- ◆講 師： えひめ権利擁護センター新居浜
代表理事 山本 豪 氏
- ◆演 題：「子ども取りまく環境から考える
私達にできること」

国安俳句会学級生作品 (8月句会)

ばんしょうのべ つきみそう
晩鐘や野辺に浮かべる月見草
くさか おがわ もじ みず おと
草刈るや小川に戻る水の音
オルゴールつぶやき終はる夜の秋
はしきせと やけいすず
橋に来て瀬戸の夜景に涼みけり

近藤 憲史
越智 椿
菅生 正恵
吉田 百合子

2026年（令和8年）9月号

西条市のホームページや右のQRコードより
公民館だよりのカラー版もご覧ください



No.406
公民館
だより

くにやす 9月

〒799-1323 西条市桑村127番地1
電話・FAX：0898-66-5028
E-mail：kuniyasu-k@saijo-city.jp

国安地区7月末現在 前月対比
男 1,646人 (-9)
女 1,880人 (-4)
計 3,526人 (-13)
世帯数 1,814人 (-3)

チャイルドサマースクール 開催

夏休み、小学生の子どもたちを対象に、楽しくチャレンジするサマースクールを開催しました。参加した子どもたちからも「楽しかった!」「またやってみたい!」と大好評でした。来年もぜひ参加して下さいね。

食品サンプル教室 7月22日（水）

かき氷のサンプルを作りました。最初に、シロップになる色を決めました。色は、赤、青、黄、緑の4色です。イチゴ、ブルーハワイ、レモン、メロンが想像できる色です。みんな本物に近づこう工夫しながら色付けをしていました。最後に、果物やクッキーの飾り乗せ、おいしそうに仕上がっていました。



手芸教室～写真を飾ろう～7月24日（金）

今回は、用意された色紙に、お気に入りの写真を貼り付け、飾りを付けていきました。写真はラミネート加工し、先生が用意してくれた押し花、シール、テープなどで色紙を自分好みに仕上げていきます。子どもたちの発想はとても豊かで見ていてとても楽しくなりました。



木工教室 7月29日（水）

キーホルダーや、ネームプレート、ロボットなど木を使って自由に工作しました。木に自分の名前を書いたり、お気に入りの絵を書いたり、色を塗ったり・・・ボンドを使って大きな置物を作った子もいました。初めての木工教室は好評で、また参加したいとの声が多数でした。また企画したいと思います。



夏のお話会と笹飾り教室 8月4日（火）

七夕の笹飾りを作りました。短冊に願い事を書き、キラキラした輪っかを付け、ちょうちんの飾りを付けました。「こより」を結ぶのが難しかったようで、苦戦している子がたくさんいました。最後に、笹を立てバランスを見て飾り付けが完成しました。くにちゃんのお話しも楽しく、折り紙で作った【ネギトンボ】が好評で、みんなで飛ばして盛り上がりました。



茶道教室 8月6日（木）

最初に、座る位置を決めます。たたみのへりから16目にひざをそろえて座ります。そして、座った時の「しせい」や「立ち方・座り方」、「おじぎ」など基本を教えてもらいました。季節のお菓子は、夏をイメージした【ひまわり】でした。お菓子を先にいただき、次は自分でまっ茶を立てます。茶しゃくを使い、まっ茶をお茶わんに入れ、茶せんで一の字を書くようにあわ立てます。みんな上手にできていました。またチャレンジしてくださいね。



～毎月10日は人権を考える日～

当たり前って何なの？

「当たり前」という言葉をよく聞きます。「当たり前」って、いったいどういうことなのでしょう。か。「当たり前」の反対語は、「有難し」です。「有難し」は「ありがとう」の語源です。当たり前ではなく、有ることが難しいので、感謝の心が生まれてくるのだと考えます。同じ物事でも、「当たり前」と考える人もいれば、「有難し」と考える人もいるのではないのでしょうか。「当たり前」と考える人が多いときに、「有難し」という考え方を否定されると、苦しい思いをする人が必ずいます。ある事柄について多数派に属する人々は、少数派の人のことを考えているでしょうか。私自身のことを考えてみると、思い当たることが多々あります。

例えば、次のようなことがありました。ある会社に学習会のお願いに行った時のことです。対応してくださったのは、同年代と思われる男女お二人でした。課長さんと係長さんが対応してくださるということで、私は男性の方を課長だと思い、男性に向かってまず名刺を差し出しました。すると、その方も名刺をくださいました。見ると、係長と書いていました。「しまった」と思いながら、すぐに女性に名刺をお渡ししました。女性が課長でした。私の中のアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）です。私の心には、「女性は管理職に向かない」「管理職は女性には無理だ」といった思い込みが隠れていました。

さらには、私から見ると日本人とは見えなかった人に対して、外国人だと思って話をしているとき、「日本語が上手ですね。」と言ってしまいました。その方は、「父親はフランス人だけど、自分は日本で生まれて日本で育ち、日本語の方が上手だ。」と言われました。私の心には、相手の見た目で「日本人ではない」「母国語が日本語ではない」という思い込みがありました。

また、ある保育の研究会でのことです。若い保育士さんが実践報告をされました。とても分かりやすく、学ぶべきところがたくさんある報告だと思いました。研究協議の時、年長の先生方から、よい実践をしていると評価する意見が次々と出されました。その発言の中に、「若い先生なのに素晴らしい」という言葉が何回も出てきました。私も同じように思いました。しかし、よく考えてみると、「若い人は頼りない」という先入観が私の中にあるのではないかと思ったのです。

このようなアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）は誰にも存在するものですが、自分の中の「当たり前」はすべての人の「当たり前」と同じではないことを意識して生活していきたいものです。

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課

『人権一口メモ』

西条市人権文化のまちづくり条例

「部落問題をはじめ、女性、障害者、子ども、高齢者、外国人等へのあらゆる人権侵害をなくするための市、市民及び事業者の責務を明らかにし、人権文化の根付いた明るく住みよい西条市の実現」を目的として、2004年11月1日に公布・施行されました。

子どもの権利条約

この条約は、1989年国連総会で採択され、日本も批准しています。次の4つの子どもの権利を守ることを定めています。

- ① 生きる権利 ② 育つ権利 ③ 守られる権利 ④ 参加する権利

西条市人権文化のまちづくり 人権啓発カレンダーより

■ 夕涼み盆踊り練習

7月23日（木）・8月5日（水）・8月19日（水）

今年も、3回盆踊りの練習を行いました。暑い中でしたが、多くの皆さんにお集まりいただきました。先生のお手本を見ながら、みんなで輪になり、和気あいあいと1時間程度、練習をしました。踊りは激しいわけではないのですが、踊るたびに汗ばんでくるほどでした。当日は、お天気に恵まれ、練習の成果が発揮できますように。



■ 令和8年度 国安地区敬老会打合せ会

7月28日（火）

国安地区連合自治会で、今年度の敬老会について打ち合わせを行いました。目的や実施方法を確認し、対象者の方へお渡しする記念品等を決定しました。

令和8年度敬老のお祝いのお知らせ

長年にわたり地域に貢献された皆様のご長寿をお祝い申し上げます。
国安地区連合自治会より対象の方へ、9月中旬より、
記念品と挨拶状をお渡しに参ります。

○対象者…昭和26年（1951年）12月31日以前にお生まれになった方。

※7月1日時点で市内に住所を有する方

○米寿の方へは、市よりお祝い（記念品）が届けられます。

国安地区連合自治会

心のオアシスコーナー

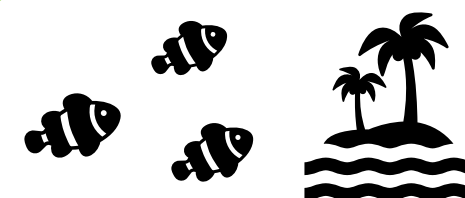
「一隅を照らす」

今年も、8月の酷暑の中、白百合の花が咲きました。公民館玄関横のアスファルトの小さい隙間から茎をのばして、美しく咲きました。

1年目は一輪、2年目は三輪、去年は五輪、今年は六輪の花を見事に咲かせました。

与えられた環境の中で、自分のまわりを照らしていくことの大切さに加え、毎日の一步一步の積み重ね、日々の蓄積の重要性を教えてくれているように感じました。

ありがとう、白百合の花。



何かをしよう

何かをしよう
みんなの人のためになる
何かをしよう
よく考えたら自分の体に合った
何かがある筈だ
弱い人には弱いなりに
老いた人には老いた人なりに
何かがある筈だ
生かされて生きているご恩返しに
小さいことでもいい
自分にできるものをさがして
何かをしよう

坂村 真民 一日一言より